

**製品名: BCL11B マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81868**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:50-1:250,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	95.5kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BCL11B
別名	ATL1; RIT1; CTIP2; IMD49; CTIP-2; ZNF856B; ATL1-beta; ATL1-alpha; ATL1-delta; ATL1-gamma; hRIT1-alpha
遺伝子 ID	64919.0
SwissProt ID	Q9C0K0
免疫原	大腸菌で発現したヒト BCL11B (AA: 1-150) の精製された組み換え断片。

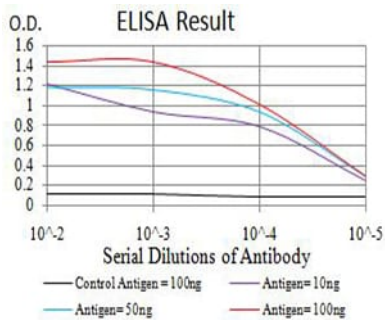
**背景**

この遺伝子は C2H2 型ジンクフィンガータンパク質をコードし、B 細胞悪性腫瘍との関連が示唆されている遺伝子 BCL11A と密接に

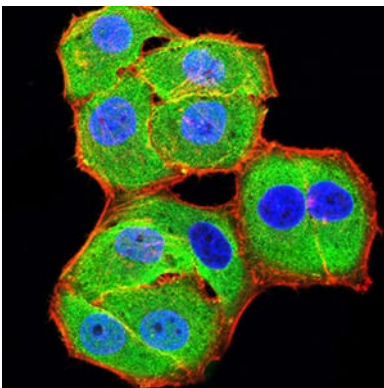
関連しています。この遺伝子の具体的な機能は未解明ですが、コードされているタンパク質は転写抑制因子であることが知られており、ヌクレオソームリモデリングおよびヒストン脱アセチル化酵素複合体 NURD によって制御されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする4つの選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。

## 研究分野

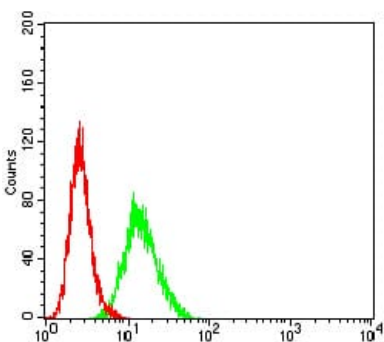
## 画像データ



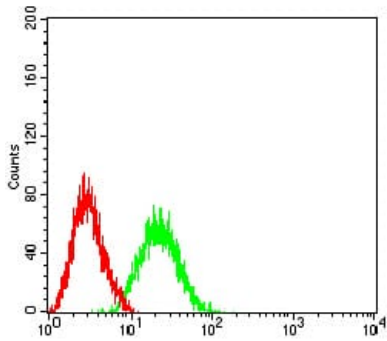
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



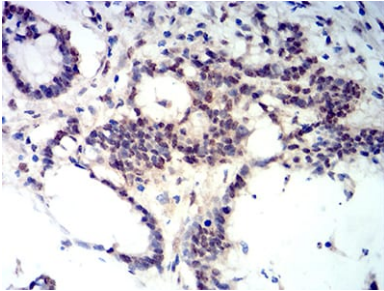
BCL11B マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



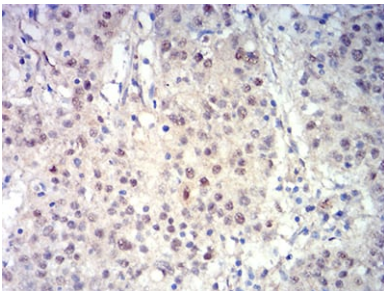
BCL11B マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



BCL11B マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による BCL11B マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による BCL11B マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。